

## （ 檀原市東坊城町の「ほうらんや」祭り ）

「ほうらんや」祭りは、毎年8月15日に檀原市東坊城町の春日神社と八幡神社を中心に行われる、勇壮で珍しい火祭り。「ほうらんや」のいわれは定かではないが、氏子総代によると、昔、「ほうらんや」と掛け声をかけたと言い伝えられる。

春日神社の祭りは午後1時過ぎに始まり、4つの地区の氏子が、四つの本松明（長さ4m、直径2～3m、重さが400～500kg）を25～30人で担いで各地区から春日神社に到着。まず、氏子の一人が役（やく）松明という小さな松明を担いで火をつけずに境内を1周して、次に火をつけて2周。その後、本松明に火をつけ、各地区の浴衣姿の20人以上の男衆が、三本の丸太に乗せた本松明を担いで境内を2周走りまわり、最後に神社の前に奉納する。上に放り投げると感じるような感じに担いだりもするため、火の粉が飛び散り、観客が大騒ぎになっている場面も。

一方、八幡神社の祭りは午後3時半頃から始まり、別の6つの地区の氏子が、六つの本松明を担いできて、同様の手順で奉納した。

松明は、小麦のわら、なたねのガラを巻き、竹で包み化粧縄で、ずんどう状に締め付けて作る。

「ほうらんや」祭りは、炎の「熱っっ！」をもって夏の「暑いっ！」を制し、無病息災や五穀豊穡を願う。県の無形文化財に指定されている。

（上田）



春日神社の本松明



八幡神社の本松明

### これからの主な催し

〔主な行事〕

●9月18日（日）（仲秋の名月の日）

猿沢池 采女祭

17時から花扇奉納行列、18時から采女神社神事、19時から管絃船の儀

JR・近鉄奈良駅から徒歩

●9月19日（月）（敬老の日）

白毫寺 志貴親王御忌

秋の花が咲く頃、10時から献花式と法要が行われる。

JR・近鉄奈良駅からバス 高畑町下車

徒歩 20分

●10月9日（日）

西大寺 秋の大茶盛式

鎌倉時代から伝わる行事で、直径30cm、重さ7キロの大茶碗でふるまわれるお茶会。

近鉄大和西大寺駅南口から徒歩3分

●10月12日（水）

八柱神社（奈良市上深川町） 題目立

秋祭りの宵宮で奉納される神事。

17歳の若者が中心となって謡う所作や動作をほとんど伴わず、能の源流をなす民俗芸能として、国の重要無形民俗文化財に指定されている。

JR・近鉄天理駅から国道山添・上野行きバス 国道小倉下車 徒歩 40分